

# な か て は ら

第65号

発行  
仲手原自治会

今年も8月26日(土)、27日

(日)の両日にわたり「なかてはら夏祭り」が盛大に開催されました。昨年、感染症対策として実施していた人数制限と検温もなくなり、マスクで隠れていた笑顔も見る事ができるなど、久方ぶりの制限のない夏祭りとなりました。

また前回の混雑の反省を活かし、今年から公園内のレイアウトを変更。二丁目公園を広く使うことでより多くの人が過ごせるスペースが確保されるなど工夫がみられました。

待ちに待ったお祭り当日、18時半からの開会にもかかわらず18時には徐々に公園内にも人が集まり始め、開始時間にはすでに大変な賑わいに。定番のマザークラブによるスーパーボールすくいや輪投げなど、第2どんぐり学童によるゲームやくじ引き、その他かき氷や綿菓子などそれぞれのブースの前に、子どもたちが楽しそうに列をつくっていました。その後、だん

だんと暗くなり公園内の熱気も高まる中、満を持して盆踊りがスタート。三回の練習を経て磨き上げた踊りをお手本に大人も子どもも

## 令和五年 夏祭り

8.26~27



一緒に輪を作って沢山の方が踊ってくれていました。夜の部は両日20時半の終了時間まで、仲手原の夏の風物詩を少しでも長く楽しもうと多くの方が残っていました。

数回の休憩を挟んでいるとはいえ、猛暑の中約2時間の行程は子どもたちにとっては決して易しいものではないかもしれませんが、疲れたときこそ「わっしょい！」と大きな声を張り上げ一歩一歩山車を運んでいきました。もうだめだと思ったときに、休憩所で出迎えてくれた方々の応援、そして用意された冷たいお茶やアイスの味はきつと忘れないことでしょう。たくさん

の応援を力にかえ、また暑い日差しを雲が隠してくれるなど天候も味方につけながら、無事に町内を回りきり山車を自治会館までかえすことができました。戻ってきた時には大きな拍手と大歓声に包まれ、やりきった子どもたちの誇らしげな表情が印象的でした。ゴールに用意してあった豚汁も疲れた体には格別の味だったと思います。

こうして無事故大成功で幕を閉じた令和5年の「なかてはら夏祭り」。あらためて子どもたちが主役となって楽しめる行事であることを実感しました。この日のために裏方として設営などの準備、当日の運営、交通整理などにあって下さった皆様、本当にありがとうございました。(加藤篤志)



港北小学校防災拠点訓練

7月9日  
港北小学校  
防災拠点訓  
練が開催さ  
れました。  
今年度は、  
午後5時に  
大地震が発  
生し、いつ  
とき避難所  
の仲手原自治会館から港北小学校  
へ避難する、という想定で行われ  
ました。訓練日は夏だったためま  
だ明るいうちの避難でしたが、冬  
で停電しているとしたら懐中電灯  
が必要な時間帯です。

港北小学校には篠原地区5自治  
会からの訓練避難者が三々五々集  
まってきて、避難者受付を行って  
拠点訓練が始まりました。港北区  
非常通信協力会による無線通信で、  
港北区役所へ避難所開設時刻と避  
難者数の報告が行われました。災  
害備蓄庫の見学の後、体育館での  
避難所テント組み立て体験、体育  
館入口前のマンホールトイレ用設  
備見学が行われました。過去に、  
ペット同伴や偶然雨の日の避難訓  
練を行った経験がありますが、夕  
方の時間帯の訓練は初めてでした。



防災食調理体験

6月18日  
家庭防災員  
の指導によ  
る防災食の  
調理研修会  
が開催され  
ました。各  
テーブル4  
〜5名にグ  
ループ分け  
され、それぞれ調理し、試食をす  
る研修です。

今回調理したのは、①ご飯(炊  
飯)②スクランブルエッグ③鯖カ  
レー④蒸しケーキ⑤酢の物(切干

大根+ツナ缶)の5品目でした。  
使う調理器具は、卓上ガスコンロ  
と鍋1個だけです。包丁もまな板  
も使いません。レシピごとの食材  
を耐熱ポリエチレン袋に入れて袋  
の口を縛り、鍋にお湯を沸かして  
茹でるのですが、家庭防災員の方  
の指導で作業していても、こんな  
ことで食べられるものができるの  
か不安の声も。スクランブルエッ  
グくらいは、なんとなくイメージ  
できるのですが、ご飯や蒸しケー  
キなどは、普通の作り方との差が  
大きくて想像の範囲を超えます。  
結果、すべての料理がともおい



わがまち  
今昔ものがたり  
武相高校野球部 県大会初優勝パレード  
昭和 39 年夏 (1964)

武相高校野球部は、昭和39年夏  
に初めて高校野球神奈川県大会で  
優勝して甲子園に行きました。

写真は、現在  
の美容室クロス  
・ヘアラウンジ  
前から、県大会  
優勝パレードの  
様子を撮影した  
ものです。高級  
スポーツカー、  
ダットサン・フ  
エアレディの上  
で誇らしげに手

を振る選手の胸にBUSOの文字  
が見えます。  
街並みも懐かしいです。左側手

前から金子肉店、庄司牛乳店、北  
見銅工店、丸井屋酒店が並んでい  
て、それぞれの商品看板が賑やか  
に見えます。写っていませんが、  
撮影者の右側は飯田理髪店でした。

しくできて、ほとんどの方がスク  
ランブルエッグ載せカレーライス、  
酢の物、蒸しケーキのデザート  
を完食しました。  
この調理方法の良いところは、  
たった一つの鍋で複数の人の複数  
の料理がほぼ同時にできること。  
鍋に入れて沸騰させる水は、清潔  
でさえあれば、飲用不適の水で良  
いこと。料理に入れるペットボト  
ルの水は必要最小限ですむこと。  
調理後に鍋を洗う必要が無いこと。  
たくさんさんのメリットがあります。  
アウトドア、キャンプなどにも応  
用可能です。

武相高校野球部は、昭和39年、40  
年、42年、43年と夏の県大会で優勝  
して甲子園に出場し、野球名門校  
としてプロ野球選手を数名輩出し  
ています。現役では東京ヤクルトス  
ワローズの塩見泰隆選手、タレント  
として活躍しているパンチ佐藤氏  
や出川哲朗氏も武相高校野球部の  
出身です。(写真・文 押尾泰典)



7月2日篠原小学校の体育館にて青少年指導員の指導によるペットボトルロケット講習会が開催されました。篠原地区の各子ども会から、大勢の子ども達やその保護者が参加しました。材料は主に、500 mlのペットボトル3本や牛乳パックです。ペットボトルをカッターで切つて部品を作り、その部品を順番に組み立て、テープで止めていきます。仕上げに、牛乳パックで作った尾翼と色画用紙のトップをついたら完成です。



ロケット製作現場

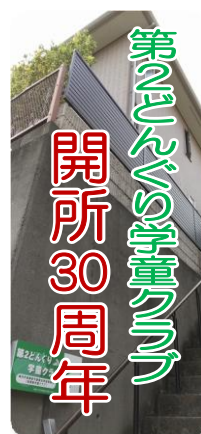
制作途中、やや難しい工程もありましたが、皆頑張つて最後まで取り組み、それぞれ素敵なロケットを完成することができました。

工作会終了後は、運動場に移動して、順番に試射をしました。ペットボトルロケットの燃料タンク部分に水を入れ、専用の装置にセットします。合図を受けて子どもが自分で装置のスイッチボタンを押すと、勢いよくロケットが打ちあがりました。



ロケット試射

講習会当日は、晴天に恵まれ、真つ青な空にロケットが高く遠くまで飛んでいく様子に、参加者から歓声があがりました。とても暑い日でしたが、子ども達はものともせず、一生懸命に作成に取り組み、自分で作り上げたロケットを打ち上げることができた達成感に満ち溢れていました。



第2どんぐり学童クラブは、平成5年5月「白幡小学校区にも学童保育を！」という「保護者」の願いが叶い、地域の皆様の御理解と御協力のもと、松見町のどんぐり学童クラブから独立する形で誕生しました。仲手原の井上道場での共同保育から始まり、令和2年12月から現在の仲手原二丁目39番において、子ども達の「放課後の生活の場」として、地域に根ざした保育を行っています。



当学童は、横浜市や民間企業が運営しているのではなく、保護者と地域の皆様を中心とした、運営委員会によって運営されている点が大きな特徴です。普段子ども達は学童では宿題をしたり、本や漫画を読んだり、おもちゃで遊んだり主体的に思い思いの方法で過ごしています。

また、外遊びでは仲手原二丁目公園から元気な声を皆様にお届けしていると思います。学



年の垣根無く、みんなで仲良く過ごしているのが印象的です。また、一年を通じて様々なイベントを行なっており、新入生の歓迎会や運動会、ドッチボール大会、時には電車に乗って映画館やスケートにお出かけしているほか、仲手原自治会主催のふれあい祭りや、夏祭りにも参加させていただいています。私たちは、学童保育をただ単に、事故のないように子どもを預かる場所としてだけでなく、子ども達には放課後の集団生活を通して、他人への思いやりや、自主性を身につける場所となつて欲しいと願っています。これからも地域の皆様の御理解と御協力をいただきながら、ともに子ども達の成長を見守っていきたくと思っています。今後ともよろしくお願いたします。

第2どんぐり学童クラブ

保護者会会長 坂詰岳彦

篠原八幡神社 例大祭  
奉納 陳式太極拳

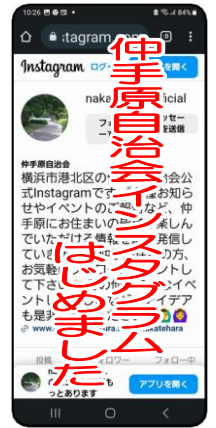
仲手原で夏祭りが開催された8月26、27日、篠原八幡神社では例大祭が行われ、境内舞殿において演芸大会が奉納されました。



陳式太極拳(太極劍)の演武

27日18時10分頃より「日本太極拳友会 陳式普及会 土曜教室」により太極剣を含む演武が奉納されました。講師の鈴木いづみ先生(写真右)、お弟子の奥村彰さん(写真左)と共に同じく弟子である本紙編集責任者の中村泰雄氏(写真中央)が演じました。

毎週の土曜教室は元街小学校、井土ヶ谷集英館他で練習が行われています。



このほど仲手原自治会として待望の公式インスタグラムが誕生しました。自治会内でのお知らせやイベントの告知など、自治会員の皆様の役に立つ情報を随時発信していく予定です。またお祭りなどの行事の様子も写真とともに投稿していきます。その他、ライブ配信やフォロー特典など様々な企画を検討しておりますので、ぜひお気軽にフォローしてみてください。もちろん投稿にコメントもできますので仲手原自治会のあたらしいコミュニケーションとして活用していただければ嬉しいです。フォローはインスタグラムのアプリを取得後、左記のQRコードから読み込んでください。



@NAKATEHARA.OFFICIAL

こぶき会だより

ことぶき会とは、なかてはら老人会の名称です。現在約百名の方々が参加されています。

8月11日午後1時より定例会開催。軽い体操、横浜市歌の合唱、会員誕生日のお祝品贈呈、井上会長の挨拶の後、イベントが開催されました。ボランティア「竹嶺会・日本の音色を楽しむ会」の木津かおりさん(※プロフィール参照)の歌と三人のお弟子さんによる三味線の演奏が始まりました。あわせて、会員の方々の民謡合唱で大いに盛り上がりました。



木津かおりさん達による演奏(㊟木津さん)

その後は暑気払いとして、ビールやジュースを飲みながら楽しい時間を過ごしました。

※木津かおりさんのプロフィール

横浜生れ・横浜市在住

日本コロムビアレコード専属民謡歌手

(一財)日本郷土民謡協会会員 (成年部副部長)

(公財)日本民謡協会会員

自治会だより

10月 「なかてはら」第65号発行

健民祭(9日)

防災キャラバン(14日)

健康づくり体操(17・27日)

仲手原防災訓練(28日)

11月 健康づくり体操(7・17日)

秋のふれあいまつり(11日)

港北ペタンク大会(12日)

年末たすけあい募金のお願い

12月 仲手原寄席(10日)

自治会館年末大掃除(16日)

「日の出を見る会」(23日)

1月 港北駅伝大会(21日)

子供会だより

単独行事

11月 港北区ペットポトル

ロケット大会(3日)

1月 節分豆まき大会(28日)

編集スタッフ

植木幹造・押尾泰典・加藤篤志・

芳賀宏江・宮田純子・山口美和

編集責任者…中村泰雄